

砂利の粒度と コンクリートの 耐圧力に関する 成績の一部

富山縣電氣局
混凝土材料試驗室

砂利の粒度のみに就て、其組成を變更する事に依り混凝土のスラムプの變化並に強度に如何なる影響あるやを見ん爲と併て黒部川産砂利使用による混凝土耐壓強度の大體を知らんが爲に施行せる試験成績の一部である。

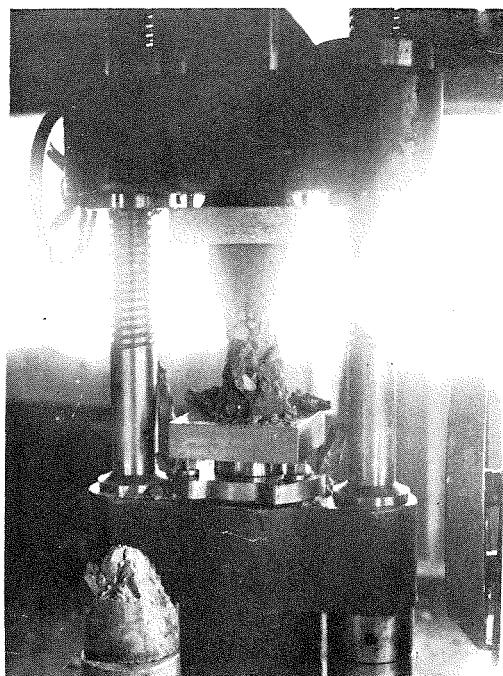
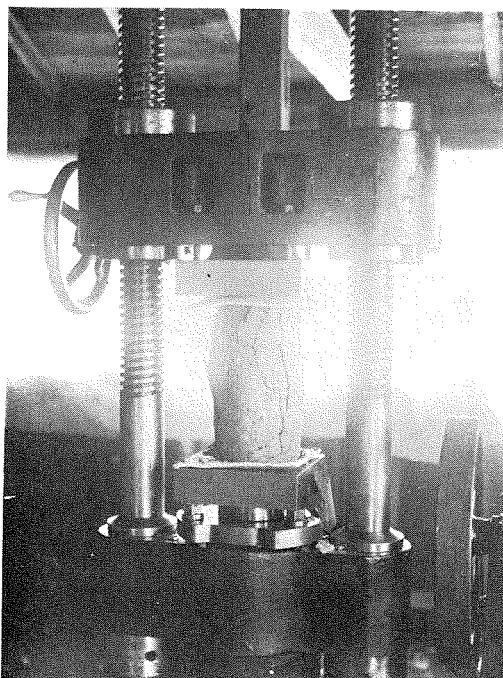
1. 骨材

砂……黒部川産の細砂にして4番篩を通過せるものを充分混合して使用す。

砂利……黒部川産にして質硬し。

2. 砂利組合 (組合せた A, B の 2 種に分ち次の如

A・1:2:コンクリートの破壊状況。



E・1:3:6 コンクリートの破壊状況。

く定む。

	A	B
1 1/2 - 3/4 吋	30%	40
3/4 - 3/8 吋	55	50
3/8 - 4 番	15	10

ABとも1:2:4及1:3:6の2種の配合比のものを製作、砂中に養生せり。

3. 試験器並成績 昭和九年十月十二・十三日

試験器……油壓式60噸セメント耐壓試験器(電動機付)

成績……寫真に示せるものはAの1:2:4及びBの1:3:6の破壊状況にして、亀裂生成し、中央部の膨脹を來せる點、並に破壊後の有様にして耐壓力は次表の如し。

	A(1:2:4)	B(1:3:6)
耐 壓 力	3200.0 #/□'k	2178.6 #/□'k
(4 週)	3035.7	392.8
	3307.0	2321.4
平 均	3180.9	2297.6

供試體の數少き爲(第1回)斷定的なる判定は下しえられ共、破壊状況を知る爲参考として掲げたる次第なり。(北村)